

# 進路通信 第6号 ～一人一人の進路実現のために～

沼田高校進路指導部  
令和2年11月4日

☆11月に入り、共通テストまで3ヶ月を切りました。3年の諸君は、毎週末の模試で力を確認しつつ、日々本番への努力を続けていることと思います。この時期、焦りと諦めは禁物です。自分の立てた計画に沿って、地道に過去問演習等を進めていきましょう。1、2年生の諸君は10月末の模試で自分の力を発揮できたでしょうか。手応えがあった科目については自信をもって、学習を進めましょう。振るわなかった科目については基礎基本に戻り、弱点の解消をしておきましょう。全学年とも毎日の授業を大切に、11月、12月が実りの季節とできるよう、頑張りましょう。

新テスト導入とコロナ禍とが重なった2021年度入試では、様々な変化が予想されます。今回は、各社の入試動向説明会のデータを元に、2021年度入試の傾向について、お伝えします。

## ☆2021年度入試の受験環境

- ①大学志願者数(本格的な18歳人口減少期への突入と浪人生の大幅減)。
- ②大学における学部・学科の新增設と私立大学における定員適正化※終了。  
※文部科学省は、入学定員を大きく超える入学者がいる私立大学に対し、補助金を減らすことにした。
- ③新入試への移行(センター試験から共通テストへ)。
- ④コロナ禍の入試(共通テストへの影響、文科省から各大学へ配慮事項)。

## ☆2021年度の入試傾向

上記の受験環境から大きく2つの傾向が見られます。

- ①+② → ⑤期待できる競争緩和
- ③+④ → ⑥志望動向の変化(安全志向)

### ⑤期待できる競争緩和

少子化の影響もあり、21年度入試の受験生は、前年度より2%ほど減少しています。また、10月15日に大学入試センターが発表した共通テストの出願状況によると、浪人生を含む「高校卒業者等」は約8万5000人(全体の約16%)で、前年の約10万5000人(全体の約19%)から約2万人減っています。この変化は、21年度の新テストを翌年に控えた20年度入試の受験生が浪人を選ばなかったことによると見られます。これらのことから全体としては、競争率は下がっています。

### ⑥志望動向の変化(安全志向)

「第1回駿台全国模試」(7月)では、地方の国立大学の希望者が増えました。また、「駿台・ベネッセ共通テスト模試」(9月)でも、同様に地方大学の人気が高い傾向が見られました。「河合塾第2回全統共通テスト模試志望動向」で、県内国公立大学の現役志望者状況を見ると、群馬大・前期(前年比102%)、県民健康科学大・前期(113%)、高崎経済大・後期(104%)と、現段階で前年より志望者の増えた大学があります。このこと背景として、新型コロナへの不安から、地元志向が高まっていることが考えられます。リスクが高い大都市の大学よりも、感染者の少ない地元で大学生活を送ることを望む受験生が多いということかもしれません。昨年度入試は、新テストを控えての安全志向が見られましたが、21年度入試は、新テスト導入に加え、コロナ禍の影響もあり、さらに安全志向が進むと見られています。安全志向は、私立大学志願者にも見られ、昨年度入試では、有名私大をはじめ多くの大学で志願者数を減り、その傾向は21年度入試でも続くと見られます。また、年内に合否が決まる総合選抜型選抜や学校推薦型選抜の受験者の増加が見られ、これも安全志向のあらわれと考えられます。

## ☆2021年度入試に向けて

- ⑤+⑥ → ⑦挑戦の好機

### ⑦今こそ挑戦の時!

受験人口が減り、浪人も少ないことは、競争倍率の低下に直結し、これは全ての受験生にとって好機です。そして、安全志向が高まっていることは、実は難関大を目指す受験生にとって絶好のチャンスだと言えます。

難関大を目指す現役生にとって、浪人生は手強い相手ですが、21年度入試では、2万人も少ないのです。また、安全志向から難関大を敬遠する現役生も増えます。もちろん、強い意志をもち「何が何でも」合格したいという受験生は踏みとどまるでしょうが、競争倍率が下がることは予想されています。自分が「踏みとどまる」一人になれば、チャンスは高まるということです。

逆に中堅以下の大学は、安全志向により、一般選抜の競争率が高くなります。リスクを避けて、ランクを下げても、そこに受験生が集中するかもしれません。「とりあえず大学生になろう」などという考えは禁物です。中堅大学を受けたい現役生もまた、覚悟と準備が必要だと言えます。

結局、大切なのは、「自分がやりたいことができる大学に何としても合格したい」という強い意志です。難関大学に挑戦する諸君も、中堅大学に挑戦する諸君もそれは同じことです。

入試までの時間は限られていますが、それは全ての受験生にとって同じことです。ただし、限られた時間の中でどう取り組んでいくかは、受験生一人一人違います。高い志をもって果敢に努力を続けていきましょう。



